

【4月の被害例】

1. リヨン駅から乗車したTGV車内で、座席に鞆を置いてスーツケースを荷物置き場に置いて戻ると、鞆の中から財布を盗まれていた（男性出張者）

【対策】座席などから離れる場合は、たとえ数秒であっても荷物を置いたまま離れないことが重要です。電車内に限らずレストラン（特にホテルの朝食会場）等でも、荷物を置いたままその場を離れることは厳禁です。

2. サンドニの大聖堂を見学後、駅に向かって歩いていた路上で、後ろか近寄ってきた男に鞆をひったくられた（女性旅行者）

【対策】サンドニ大聖堂近くでは、同様の被害がたまに大使館にも報告されます。そもそも、訪問することをあまりお勧めしない場所ではありますが、どうしても訪問したい場合は、目立つ格好を避け、鞆などは携行しないことをお勧めします。

3. シャンゼリゼ通りのラデュレでマカロンを購入するために並んでいたところ、2人組の少女が割り込んできて強くぶつかられた際に、鞆の中にチェーンで留めていたにも関わらず、チェーンを外され、財布を盗まれた。ぶつかられた直後に大げさに謝られたので、すぐには盗られたことに気が付かなかった（女性旅行者）

【対策】相手が少女だからといって油断せず、見知らぬ人に話しかけられたり、不自然な行動を認知した場合は警戒が必要です。話しかけられた場合は無視するか毅然と対応し、それでもしつこく言い寄る場合は、自分の荷物に注意し、速やかにその場を離脱してください。

4. 北駅で電車の切符を券売機で購入していたところを男性に話しかけられ、対応している隙に、スーツケースの上に置いていた鞆を別の男に盗まれた（男性旅行者）

【対策】北駅も犯罪多発地帯です。見ず知らずの人に話しかけられることが多い場所でもありますので、話しかけられた場合は、最高度の警戒が必要です。

5. 地下鉄オペラ駅で電車に乗り込む際、人が殺到し混雑していたが、後で気が付くと、背負っていたリュックサックの中から財布を盗まれていた（男性旅行者）

【対策】駅に限らず、混雑した場所では警戒が必要です。電車内では複数名のグループが意図的に混雑した状態を作り出した上で犯罪に及ぶこともあります。混雑した場所では、リュックサック等の荷物は体の前面で持つなどの対策が有効です。